

本気で取り組んでいます！！ 「もくぴかそうじ」

代表委員会からこのような呼びかけがありました。

「みなさん、『もくピカそうじができるいしべっ子』になるため全校で取組を始めます。『もくピカそうじ』とは、そうじに関係ないおしゃべりをする
ことなく、そうじに集中して、自分の担当場所を一生懸命にぴかぴかにするそうじです。しーんとした中で、そうじの音だけが聞こえるよう、そうじの音楽を止めます。一生懸命もくもくと掃除をしていることが誰が見てもわかるような「もくピカそうじ」ができるいしべっ子になりましょう。」

今、そうじの時間は、全校がしーんと静まりかえっています。次年度につながる本気の取組をこの調子で全校みんなで行ってほしいです。



「詩の暗唱」で「ことば」への感性を磨く

石部小学校では、1～6年生まで「詩の暗唱」に取り組んでいます。湖南省教育委員会が発行している「ことばの宝石箱」を活用して、各学年年間約10作品を暗唱します。

その「ことばの宝石箱」の最後には、「85甲子園の詩」という作品が載っています。

85 甲子園の詩

阿久 悠

甲子園には石ころがない
だからプレイが楽しい
そんな気楽さが
奇跡につながったのかもしれない
この最高の晴舞台で
思いきり躍動することが嬉しいと
素直に歓ぶ心が
無心という
得難い宝物になったのかも知れない
自分が自分であるために
虚飾を捨てる健気さが
勝利を呼んだのかも知れない
やれば出来るという言葉が
空念仏でないことを証明した
甲西高校ナイン
猛暑の中のさわやかな風のように
陽炎の彼方の夢幻の夏景色のように
人々の心に夢を与えた
ミラクル甲西
だから甲子園は見逃せない
きみたちが一つ勝つごとに
それを我がものとして喜んだ球児が
何万人といたことだろうか
甲子園は遠いものだと
勝つことは困難なことだと
はるかに遠い夢としている球児たちに
希望を与えたいと
そして きみたち自身
猛烈な夏の猛烈な甲子園で
身をもって証明した青春は
一万ページの本を越える
多分 来年の春
初めての卒業式は
誇りに満ちた明るいものになるだろう

出典「甲子園の詩」スポーツニッポン新聞

先日、6年生がこの詩の暗唱にチャレンジしました。実は、私は1985年にこの「ミラクル甲西」の活躍を甲子園のスタンドで応援する幸運を得ました。6年生が一生懸命暗唱する姿に触れながら、改めてあのときの感動がよみがえってきました。

「素直に歓ぶ心が無心という得難い宝物になる」「自分が自分であるために虚飾を捨てる健気さが勝利を呼ぶ」・・・6年生にとれば、その言葉のもつ深い意味を実感をもって知るの、ずっと先のこともかもしれません。「1万ページの本を越える青春」の物語はまだこれから始まるのかもしれない。でも、いつかこの詩の言葉がもつ意味に、きっと気づく人があるはずです。

暗唱を聴きながら、「人生のなかでそんな経験が出来たら素敵だろうな。」そして、「甲子園に負けないこの石部小学校というステージを卒業する6年生が、今後さまざまな経験をしながらたくましく成長してほしいな。」と心から願ったのであります。これからはいしべっ子には「詩の暗唱」をとおして、言葉のリズムの楽しさを感じたり、言葉のもつ意味のおもしろさや深さを味わったりして、言葉への感性を磨いてほしいと思います。最後に、どの学年も1年間「詩の暗唱」をよくがんばりました！



ピクトグラムを設置してくださいました！

2月6日（日）CS校外生活委員会のみなさんが、「増水」の注意喚起を促すピクトグラムを校区内の18箇所に設置してくださいました。当日は、冷たい風が吹き付ける中での作業となりましたが、子どもたちのために！と一丸となってがんばってくださいました。設置場所の提供等にご協力いただきました地元の皆様にもこの場をお借りして心よりお礼申しあげます。

このようにCS（学校運営協議会）の理事ならびに運営委員の皆様には児童の通学路の安全にもご尽力をいただいています。

